

「日本人の食事摂取基準」活用検討会 開催要領

1 目的

日本人の食事摂取基準は、国民の健康の維持・増進、生活習慣病の予防を目的として科学的根拠に基づき、エネルギーや各栄養素の摂取量の基準を示すものであり、2010年版は、平成22年度から平成26年度まで5年間使用することとなっている。

また、食事摂取基準を活用するにあたり、活用方法については、諸外国で数多く議論がなされているが、統一した理論や活用方法は未だ確立していない。

そこで、本検討会では、活用の基礎理論を踏まえ、食事改善ならびに給食管理における適切な活用方法について検討することを目的として、厚生労働省健康局長が本検討会を開催するものである。

2 組織

- (1) 構成員は、若干名で構成し、互選により座長を1名選出する。
- (2) 構成員等は、「日本人の食事摂取基準」活用検討会の報告までの間、本検討会に参画する。

3 検討内容

日本人の食事摂取基準（2010年版）における活用の基礎理論を踏まえ、

- (1) 食事改善における活用方法の検討
 - (2) 給食管理における活用方法の検討
- を行う。

4 事務局

検討会の庶務は、健康局総務課生活習慣病対策室が行う。

5 その他

この要領に定めるものの他、検討会の運営に関して必要な事項は、座長が健康局長と協議の上定める。

「日本人の食事摂取基準」活用検討会 構成員名簿

(五十音順)

構成員名	所属
石田 裕美	女子栄養大学教授
佐々木 敏	東京大学大学院教授
佐藤 愛香	西洋フード・コンパスグループ株式会社 オペレーション統括本部
伊達 ちぐさ	奈良女子大学教授
田畑 泉	独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進プログラムリーダー
中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学教授
山本 茂	お茶の水女子大学大学院教授
吉池 信男	青森県立保健大学教授
由田 克士	独立行政法人国立健康・栄養研究所 国民健康・栄養調査プロジェクトリーダー

(参考)

「日本人の食事摂取基準」活用検討会
食事バランスガイドの検証に関する作業部会 構成員名簿
(五十音順)

構成員名	所属
高橋 東生	桐生大学教授
武見 ゆかり	女子栄養大学教授
田中 茂穂	独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム エネルギー代謝プロジェクトリーダー
早瀬 仁美	福岡女子大学教授
○吉池 信男	青森県立保健大学教授

○部会リーダー